

SPEAK UP プライバシー ポリシー

2024年10月

SPEAK UP プライバシーポリシー

最終更新日：2024年10月1日

スイスに本社を置く L'OCCITANE International (Suisse) SA (以下「LOI」), その関連会社 およびブランド(以下「関連会社」) (以下、総称して「L'OCCITANE グループ」) は、L'OCCITANE グループのビジネス行動規範および/または法律/規制の違反の可能性を報告するためのSpeak Up制度を導入しています。

Speak Up の報告手順：[L'OCCITANE Group Speak Up Policy](#)は、Speak Up報告手順の実施条件について記載しています。

以下の2つのチャネルのいずれかから、社内に報告することができます。

- お住まいの国で利用可能な現地のSpeak Up チャネル、および現地の関連会社によって指定された担当者。
- LOI によって設定されたGroup Speak Up チャネル。

Speak Up 報告書（以下「報告書」）を提出し、連絡先情報を提供した場合、7 日以内に、または現地の法律により厳しい遅延が規定されている場合はその期間内に、受領確認を受け取ります。

報告手順の実施に関する重要な情報が記載されている[Group Speak Up Policy](#)を本Speak Up プライバシーポリシー（以下「ポリシー」）と併せてお読みください。

本ポリシーの内容：本ポリシーは、報告書における個人データ（以下「個人データ」）の収集および取り扱いについて規定しています。報告書が作成された場合、LOI または現地の関連会社が、以下の目的のために個人データを処理します。

- 手順報告書の受領。
- 報告書の調査および必要な確認および分析の実施。
- 報告書に対して取るべき措置の決定。
- 個人の保護。
- 法的権利の行使または弁護。

本ポリシーは、LOI および/またはその関連会社が、報告システムおよびその後の報告の調査において、個人データをどのように収集および処理するかについて説明しています。本ポリシーでは、個人データに関する権利についても説明しています。

現地の法律が、本「Speak Up プライバシーポリシー」に定める基準よりも高い基準を課す場合、現地の法律が適用されます。

Speak Up チャンネルを乱用した場合、その報告者に制裁措置や法的措置が講じられる場合があります。ただし、**Speak Up** チャンネルを誠実に利用した場合、報告された事実が誤っていたり、正式な措置が取られない場合でも、懲戒処分を受けることはありません。

1. 関連するデータコントローラー

- **現地のSpeak Up チャンネルを通じて提出された報告書**：現地のSpeak Up チャンネルを通じて報告が提出された場合、現地の関連会社がデータ管理者としての役割を果たします。
- **Group Speak Up channel チャンネルを通じて提出された報告書**：Group Speak Up チャンネルを通じて報告書が提出された場合、LOI はデータ管理者として機能します。

（個別に、「データ管理者」、「当社」または「当社の」）。

データ管理者は、以下の法的根拠に基づき、報告の収集および調査を目的として個人データを処理します。

- **法的義務**：当社は、報告手続きの実施に関する要件を遵守するため、個人データを使用することが法的に義務付けられています。
- **正当な利益**：当社は、特に [L'OCCITANE Group ビジネス行動規範](#) および適用される法律および規制の遵守を確保するために、個人データを使用することについて正当な利益を有する場合があります。データ管理者は、個人の利益および基本的権利と自由が優先されない場合に限り、その正当な利益をもって、処理に関する法的根拠とすることができます。

2. Speak Up チャンネルを利用できる個人

以下の個人がSpeak Up チャンネルを利用できます。

- L'OCCITANE グループの従業員、インターン、契約社員
- バリューチェーンのサプライヤーとその従業員
- 顧客および見込み客
- コミュニティのメンバー

3. 当社が収集する個人情報

データ管理者は、報告書の処理に関連し、必要な情報に関するデータを収集し、保存します。

報告書の一部として提供されるデータは、事実に基づくものであり、報告された潜在的な違反と直接関連している必要があります。報告書には、国防機密、医療機密、司法審議の機密、司法調査または調査の機密、または弁護士職務上の機密に該当する情報が記載されてはなりません。

報告書がデータ管理者に送信された場合、当社は報告された以下に関する個人データを収集する場合があります

- 報告された事実。
- 以下の身元、職務、連絡先情報：
 - 報告書を作成した者。
 - 報告書に記載された者。
 - 報告書の作成に関与した者、相談を受けた者、聴取された者。
 - 報告を作成した者と接触した仲介者および関係者。
- 報告された事実の検証の過程で収集された情報。
- 検証報告書。
- 講じられた対応措置。

個人データの特別なカテゴリー：特別な種類の個人データ（特に、民族または人種的出自、政治的意見、宗教的または哲学的信条、健康、労働組合への加盟、性生活または性的指向に関する個人データ）は、当該処理が重要な公共の利益を満たす場合、または適用される場合、法的請求の確立、行使、または防御のために必要な場合に限り、報告手続きの一環として処理される場合があります。

刑事上の有罪判決および犯罪に関連する個人データ： 刑事上の有罪判決または犯罪に関連する個人データは、被害者、被告または被告の代理人として、または適用法の特定の条項で規定されている場合、あるいは法的手続きの準備、および該当する場合はその実施およびフォローアップのために、報告書の処理の一環として処理される場合があります。

クッキー：クッキーは、**Group Speak Up** チャネルまたは現地の **Speak Up Channel** を通じて提出された報告書の処理の一部として使用される場合があります。クッキーの使用に関する詳細については、**Speak Up** サービスプロバイダーのクッキーポリシーをご覧ください。クッキーポリシーは [こちら](#)、または現地の **Speak Up** チャネルからご確認いただけます。。

レポートの取り扱いについて決定が下された後、当社は、以下の目的のために必要な個人データのみ処理します：

- 報復のリスクからの利害関係者の保護。
- 法的権利の行使および弁護。
- 内部プロセスの監査の実施。

4. 個人データの受領者

上記の個人データは、以下の者に開示される場合があります：

- 報告書の収集を担当する **Speak Up** サービスプロバイダー。
- データ管理者を支援する外部の法律アドバイザーおよび弁護士。
- グローバル **Speak Up** チャネルを通じて報告された事項については、調査の性質および必要な専門知識に応じて、グループ内部監査部門および/またはその他の社内の関係部門が対応します。
- 現地の **Speak Up** チャネルを通じて報告された事項については、調査の内容および必要な専門知識に応じて、人事部長および/または総支配人、および/またはその他の社内の関係者が対応します。

本報告書に関する情報は、本報告書の確認または処理の目的でのみ共有することができます。上記の受領者に転送される情報は、通信の目的に厳密に必要な、かつ比例した情報に限られます。

本報告書に関する情報の受領者は、グループ内部監査部門と同じ、または同等の強化された契約上の守秘義務を遵守する義務があります。

報告者を特定する情報は、司法当局を除き、報告者の同意がある場合にのみ開示することができます。その場合、当該情報が司法当局に開示されることを報告者に通知しますが、その情報が手続きに支障を及ぼすおそれがある場合はこの限りではありません。

報告書に記載された関係者または第三者を特定できる情報は、報告書が根拠のあるものであることが確認された場合に限り、司法当局に対してのみ開示することができます。

5. データの転送

Speak Up 報告手続きの一環として、または法律で認められている場合、報告の対象となった個人の個人データは、報告の処理のみを目的として、スイスにある **LOI** および/または欧州連合内外にある 1 つ以上の現地関連会社に転送される場合があります。関連会社の地域については、最新の[年次報告書](#)を参照してください。

当社は、所在する国以外の国に個人データを転送する場合、適用される法的要件を遵守します。例えば、当社は、適格性認定が発行されている国へ個人データを転送する場合、または個人データの転送に関する契約上の保護措置を講じる場合があります。が欧州連合（EU）域内にお住まいの方で、EU 域外への個人データの転送に関して当社が採用している保護措置のコピーをご希望の場合は、以下の連絡先までお問い合わせください。

6. 保存期間

データ管理者は、報告書の処理に関する決定が下されるまで、報告書に関するデータをアクティブなデータベースに保持します。

さらなる措置に関する最終決定がなされた後、データは、当該データの処理および報告を行った個人および報告に記載された個人の保護に厳密に見合った期間、中間アーカイブの形で保存される場合があります。この期間は、さらなる調査に必要な時間を考慮して決定されます。

個人または虐待的な報告書の作成者に対して懲戒手続きまたは訴訟手続きが開始された場合、当該報告書に関するデータは、手続きの終了または決定に対する上訴の期限まで、データ管理者によって保持される場合があります。

データ管理者が法律により義務付けられている場合（例えば、会計、社会、税務上の義務を履行するため）、監査や紛争が発生した場合の証拠として、またはレポート手続きの品質監査を実施するために、データは中間アーカイブの形でより長期間保存される場合があります。

当社は、匿名または匿名化されたデータを無期限に保持する場合があります。

7. 報告の対象者への通知

データ管理者は、そのデータが処理される可能性のある個人に対して、透明性および公正性の原則を遵守しなければなりません。

データ管理者は、報告を受け取ってから 1 か月以内に、報告の対象者にその旨を報告します。ただし、予防措置が必要であり、特に報告書に関連する証拠の破壊を防止するため、または調査の機密性を保持するために必要な場合、当該予防措置が講じられた後にのみ、当該者にその旨を通知することができます。

報告の対象となった者は、いかなる場合においても、データ管理者から、そのアクセス権に基づき、報告者または報告書に記載された第三者の身元に関する情報を取得することはできません。

8. データ主体の権利

ユーザーは、ご自身の個人データに関して一定の権利を有しています。お客様が欧州連合にお住まいの場合、これらの権利には以下に記載されているものが含まれます。EU 以外にお住まいの方の権利は、現地の法律によって異なる場合があります。

- **アクセス権**：報告手続きの一環として個人データが処理されている、または処理された個人は、GDPR に従い、当該個人データへのアクセス権を有します。
- **訂正権および消去権**：報告手続きで特定された個人は、自身の個人データが不正確、不完全、曖昧、または古くなっている場合、その修正または削除を請求する権利を有します。ただし、この権利を行使しても、報告書に記載された内容、および調査中に収集された情報は遡及的に変更されることはありません。

上記の権利は、報告の対象となった者が、報告者の身元に関する情報を取得するために利用することはできません。

- **処理の制限権**：例えば、個人がデータの正確性に異議を唱える場合、処理を制限する権利を行使することができ、必要な確認が行われている間、一時的な処理の停止を要求することができます。
- **異議を申し立てる権利**：GDPR 第 21 条に従い、データ管理者が従うべき法的義務の遵守に必要な処理については、異議を申し立てる権利は行使できません。データ管理者の正当な利益に基づく処理については、データ主体が自分の特定の状況に関する理由を説明した場合、反対する権利を行使することができます。ただし、データ主体の利益および権利を凌駕する正当かつやむを得ない理由がある場合、または法的請求の確立、行使、または防御のために処理が必要な場合は、この異議申立権は適用されません。

9. 当社の連絡先情報

本ポリシー、当社のプライバシー慣行についてご質問やご意見がある場合、または個人データに関する権利の行使を希望される場合は、以下の連絡先までお問い合わせください。

- 報告書が現地の **Speak Up** チャンネルを通じて提出された場合：現地の関連会社にお問い合わせいただくか、人事部門にお問い合わせください。
- 報告書が **Group Speak Up** チャンネルを通じて提出された場合：
 - 書留郵便で、以下の宛先に郵送してください。L'OCCITANE International (Suisse) SA, Chemin du Pré Fleuri 5, 1228 Plan-les-Ouates, Suisse
 - 以下の電子メールアドレスに送信してください：speakup@loccitane.com
 - 当社のデータ保護責任者は、以下の住所までお問い合わせください：dpo@loccitane.com

書類や電子メールの件名には、「機密情報– Speak Up 報告書」と記載してください。当社は、適用されるデータ保護法に従って対応いたします。自身の個人データが適用法に違反して処理されたと思われる場合、お住まいの地域の監督当局に苦情を申し立てる権利を有します。欧州連合にお住まいの場合、監督当局は、常居所、勤務地、または適用規則の違反があったとされる場所の監督当局となります。

10. 本ポリシーの変更

当社は、当社のプライバシー慣行の変更、またはデータ保護法によって要求があった場合、本ポリシーを随時更新する場合があります。本ポリシーに重要な変更があった場合は、適切な方法でお知らせいたします。